

ハローキャリアワーク通信

令和7年3月28日
教育総合センター
事業推進担当課



3月27日（木）に今年度最後の2日間のプログラムの初日が、いいほいくえん用賀分園で行われました。春休みで次の学年の準備などと子どもたちも何かと多用の中、6名が参加してくれました。いいほいくえん用賀からの依頼は、「年長のうみ組の子どもたちが、4月から新1年生になります。小学校に行くのを楽しみにしている子もいれば、ちょっと不安な子もいます。『小学校ってこんなところだよ』と紹介してください」でした。

このことに応えるように、元気で、やる気に満ちた1年生から2年生の子どもたちでした。初めに、教

育委員会の担当者の自己紹介から始まり、次がいいほいくえん用賀の施設長の金子さんと栄養士の熊谷さんが同じく自己紹介をされました。金子さんは「私は子どもたちから『ちか』先生と呼ばれているので、ここでも『ちか先生』と呼んでください」と伝えていました。そして、参加した子どもたちもそれぞれ自己紹介をして、少し緊張をやわらげるようにしていました。さらにちか先生から子どもたちに聞きたいこととして「なぜ、このプロジェクトに応募したの」とその理由を聞きま



した。子どもたちからは「小さい子が好きだから」「ポスターを見てやってみたいと思ったから」などの答えが返ってきました。そして、ちか先生が「新1年生になる年長の子どもたちが『学校って楽しいんだ』『早く行きたい』と思えるようにするためにどんな方法で紹介してくれますか？」と語りかけました。子どもたちは少し考えてから手を挙げて「紙芝居で伝えたいです」「絵本で伝えたいです」と案を出してくれて、この案に他の子どもたちも賛同して決まりました。その

後、「紙芝居」と「絵本」のどちらを行いたいかを子どもたちに決めてもらったところ、3人ずつに分かれました。

それぞれのグループで、どんなことを紙芝居や絵本にするか話し合いが始まり、司会者を決めて、記録用紙をもらって進めました。「紙芝居」グループでは、どんな内容にするかの話し合いで子どもたちから「学校の1日」という案





が出てそれに決まりました。そこで、学校が違うため教育委員会の担当者から「登校時の様子は?」「正門では?」「教室に入ると?」など、具体的にその様子を聞き、子どもたちが自分の生活について話し始め、ポイントを記録していきました。そして、朝から、授業が開始され、給食、清掃、休み時間、帰りの様子などまとめて、自分が描きたいところを3つほど分担してその様子を画用紙に描き始めました。「絵本」グループでは、どんな絵本にするかの話し合いで「給食の時間」が

話題になり、絵本にすることが決まりました。その後絵本にする場面を出し合い、それぞれ分担して書き始めました。場面としては、「いただき」(いただきます。ごちそうさま)班「グループでの食事の場面」など各自が選んだ内容を描いていました。その時、ちか先生が見本として、保育園にある大型絵本を示してください、子どもたちはその大きさを見て、より大きな絵や文字にするように工夫しました。時間まで集中して取り組んで、ほとんど出来上がりました。2日目は、作業を完成させて、園児たちに聞いてもらいます。



